

貸切バス（初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	[Redacted]	
実施年月日・時間	令和5年9月5日 9時00分～14時30分	4時間15分	合計12時間35分	
	令和5年9月7日 9時00分～16時10分	5時間40分		
	令和5年9月12日13時30分～16時30分	2時間40分		
実施場所	本社会議室	指導講師	[Redacted]	

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）

- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

①～④国土交通省作成の事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導マニュアルをコピーして配布を行い、それに沿って指導教育を行った。

⑤いすゞガーラバス先進装置装着車DVDを鑑賞させ、実車を使用して操作方法等を指導した。

⑥ 車両を運転させ本人の癖や一旦停止時の安全確認は、車を完全に停止させ手から確認をするようドライブレコーダー画像を見ながら指導した。



※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
[Redacted]	[Redacted]						

貸切バス (初任者・準初任者) 特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	[Redacted]	
実施年月日・時間	令和5年9月6日 8時56分～10時43分	1時間47分	合計24時間21分	
	令和5年9月11日 8時54分～18時03分	9時間09分		
	令和5年9月18日 11時53分～17時33分	5時間40分		
	令和5年9月19日 8時48分～16時34分	7時間46分		

実施場所	路上	指導講師	[Redacted]	
------	----	------	------------	--

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。

- 座学 (①から⑥合計10時間以上) 実技指導 (20時間以上)
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
 - ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
 - ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項 (シートベルトの着用徹底等)
 - ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
 - ⑤ ASV車両の適切な運転方法
 - ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダの記録を利用した運転特性の把握と是正
 - ⑦ 安全運転の実技 (当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導) ※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

・ 9月6日、3219車中型車を使用し本社営業所近くの道路を実技運転させ、運転上注意する点を指導した。午後ナスパでの初任診断受診。

・ 9月11日、3219車中型車を使用して天草方面へ走行。

・ 9月18日、3219車中型車を使用して松橋より高速道路を鹿児島溝辺インターまでの高速教習。

・ 9月19日、3219車中型車を使用して阿蘇菊池方面へ走行。

以上の実技指導で一時停止、信号機の見方、交差点左折時のバスの特徴内輪差、狭い道での部屋ピンカーブでのハンドル操作、下り坂でのエンブレキと排気ブレーキの使用をし適正なスピードで走行する、カーブでの安全な速度での通過、信号停止や減速時のブレーキの踏み方、乗客が乗っていると思い走行する、乗客の安全を考えた場所での乗降等を指導し、運転している時に見受けられる癖や注意点を指導した。

※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダの記録等を添付すること。ドライブレコーダの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
[Redacted]	[Redacted]						

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

No.1

営業所名	本社営業所	運行管理者	[Redacted]	
実施年月日・時間	令和5年12月5日 8時52分～19時18分	10時間26分	合計24時間46分	
	令和5年12月15日 9時21分～12時36分	3時間15分		
	令和5年12月24日 9時05分～12時56分	3時間51分		
	令和5年12月25日 8時47分～13時06分	4時間19分		
	令和5年12月26日 9時05分～12時00分	2時間55分		
実施場所	路上	指導講師	[Redacted]	

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）

- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

・12月5日、62車大型車を使用し本社営業所より植木・大津・小国方面へ行き熊本空港経由で本社営業所まで戻る道路を実技運転させ、運転上注意する点を指導した。

・12月15日、62車大型車を使用して国道501号線を熊本市・熊本新港方面へ走行。

・12月24日、62車大型車を使用して県道1号線を通り、熊本市街地を走行教習した。

・12月25日、62車大型車を使用して国道501号線から熊本市街地方面へ走行。

・12月26日、62車大型車を使用して国道501号線を熊本市・熊本新港方面へ走行。

以上の実技指導で一時停止、信号機の見方、交差点左折時のバスの特徴内輪差、狭い道での部屋ピンカーブでのハンドル操作、下り坂でのエンジンプレーキと排気ブレーキの使用をし適正なスピードで走行する、カーブでの安全な速度での通過、信号停止や減速時のブレーキの踏み方、乗客が乗っていると思い走行する、乗客の安全を考えた場所での乗降等を指導し、運転している時に見受けられる癖や注意点を指導した。

※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダの記録等を添付すること。ドライブレコーダの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
[Redacted]	[Redacted]						

貸切バス（初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	[Redacted]	
実施年月日・時間	令和6年9月13日 13時30分～17時00分	3時間30分	合計13時間30分	
	令和6年9月14日 10時00分～16時00分	5時間00分		
	令和6年9月26日 10時00分～16時00分	5時間00分		
実施場所	本社会議室	指導講師	[Redacted]	

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

- 座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
 - ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
 - ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
 - ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
 - ⑤ ASV車両の適切な運転方法
 - ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
 - ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

①～④国土交通省作成の事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導マニュアルをコピーして配布を行い、それに沿って指導教育を行った。

⑤いすゞガーラバス先進装置装着車DVDを鑑賞させ、実車を使用して操作方法等を指導した。

⑥ 車両を運転させ本人の癖や一旦停止時の安全確認は、車を完全に停止させ手から確認をするようドライブレコーダー画像を見ながら指導した。



※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
[Redacted]	[Redacted]						

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	
実施年月日・時間	令和6年9月17日 16時30分～18時50分	6時間10分	合計27時間48分
	令和6年9月20日 12時13分～16時38分	4時間25分	
	令和6年9月28日 8時54分～18時02分	9時間08分	
	令和6年9月29日 9時16分～17時21分	8時間05分	

実施場所	別紙一般道	指導講師	
------	-------	------	--

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。

- 座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
 - ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
 - ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
 - ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
 - ⑤ ASV車両の適切な運転方法
 - ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダの記録を利用した運転特性の把握と是正
 - ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

※ 準初任運転者は運転経験車両より大型車に乗務する前に実施する

【実施した具体的な指導内容】

※9月17日 897車大型車を使用し本社営業所から国道501を走行し松橋町経由山都町、高森町、南阿蘇、菊池の道路を実技運転させ、運転上注意する点とASV装着車の運転、山間部の運転と下り坂の走行を指導した。

※9月20日 897車大型車を利用して本社より玉名方面へ走行。

※9月28日 897大型車使用して芦北、人吉、えびの方面へ走行。

※9月29日 897大型車使用して天草茶北まで走行。

各日一時停止、信号機の見方、交差点左折時のバスの特徴内輪差、狭い道でのヘヤーピンカーブでのハンドル操作、下り坂でのエンジンプレーキと排気ブレーキの使用をし適正なスピードで走行する、カーブでの安全な速度での通過、信号停止や減速時のブレーキの踏み方、乗客が乗っていると思い走行する、高速道路の走行での注意、乗客の安全を考えた場所での乗降等を指導し、運転している時に見受けられる癖や注意点を指導した。

※1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダの記録等を添付すること。ドライブレコーダの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印